

業績ハイライト（連結）

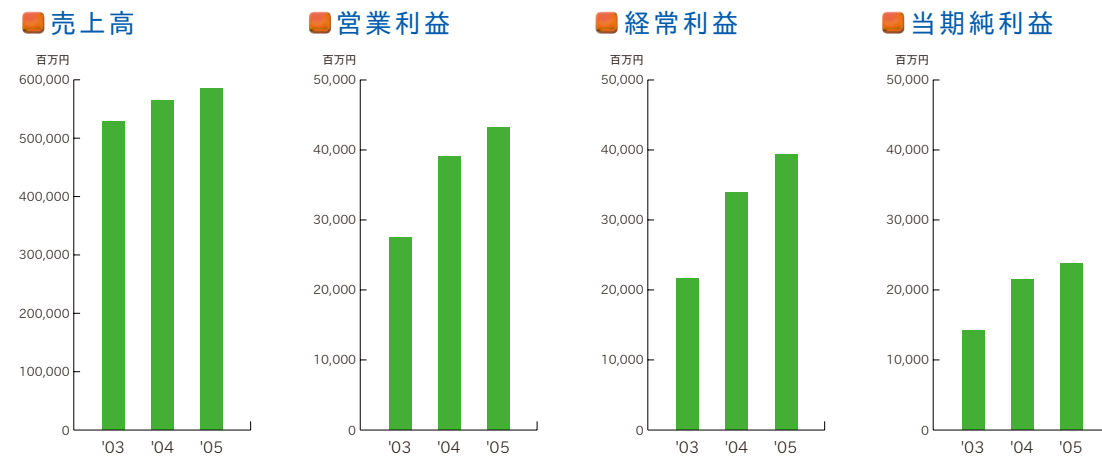
PERFORMANCE HIGHLIGHT

戦略事業が好調に推移し、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益すべて4期連続の増加となりました。売上高と当期純利益については、3期連続で過去最高を更新しました。

業績ハイライト（通期）

科目	2003年度	2004年度	2005年度
売上高（百万円）	523,528	559,006	580,309
営業利益（百万円）	27,491	39,040	43,114
経常利益（百万円）	21,454	33,588	38,915
当期純利益（百万円）	14,176	21,534	23,745
1株当たり当期純利益（円）	51.99	80.27	88.57

*2004年度より「固定資産の減損に係る会計基準」及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」を適用しております。

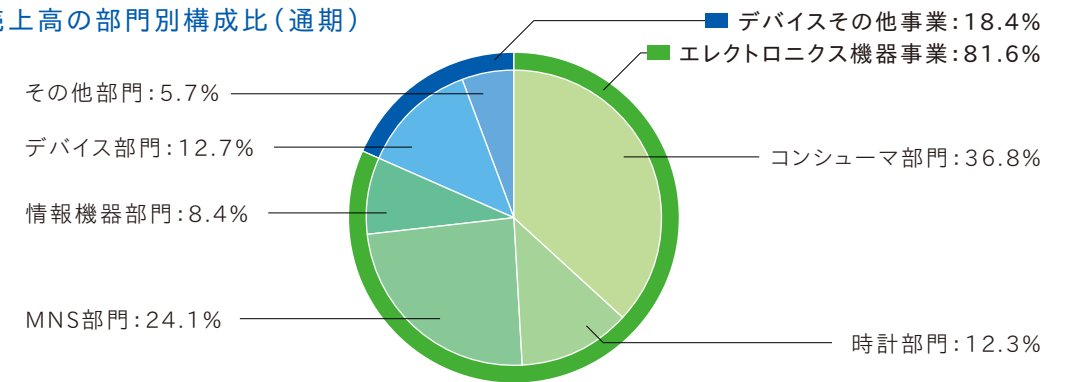


部門別の概況（連結）

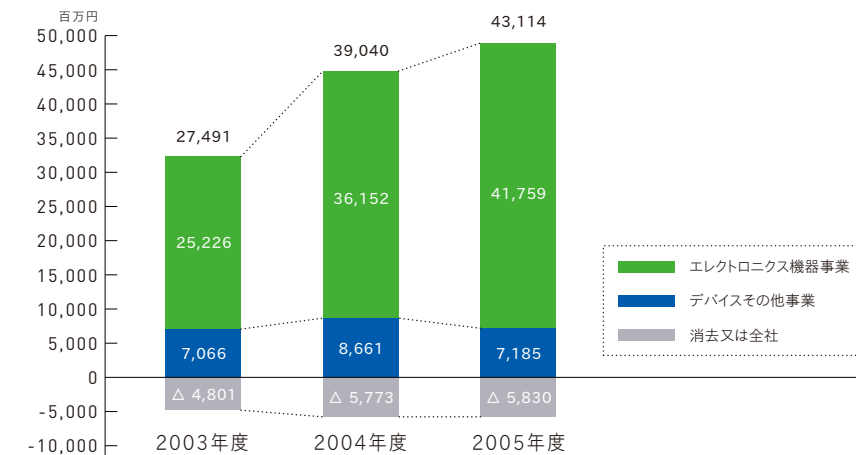
SEGMENT INFORMATION

各部門別の概況を、ご報告します。

売上高の部門別構成比（通期）



営業利益の概況（通期）



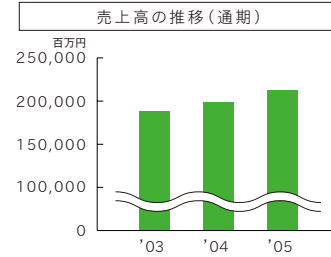
部門別の概況（連結）

エレクトロニクス機器事業

コンシューマ部門

収益性の高い基盤事業である電卓、電子辞書などは堅調に推移。発展事業であるデジタルカメラでは、薄さや速さを徹底的に追求したスタイリッシュなデジタルカメラとして高い支持を得ている「EXILIM」が、海外展開により更に拡大するなど前期に引き続き好調に推移し、前期比7.7%の増収となりました。

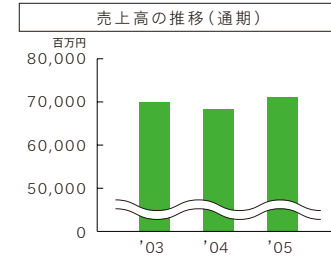
売上高
213,810百万円



時計部門

電波受信やソーラー駆動といった最新技術を高級感のあるフルメタルケースに収めた「OCEANUS」において、男性用ラインアップの強化とともに、初めて女性をターゲットとしたモデルを投入、当グループ時計事業を代表するブランドのひとつとして積極的に展開した結果、前期比3.8%の増収となりました。

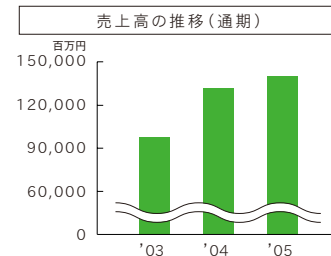
売上高
71,086百万円



MNS部門

320万画素CCDカメラと2.6インチワイドQVGA液晶搭載のWIN対応端末「W31CA」と折りたたみ式で耐水・耐衝撃性能を備えたメガピクセルケータイ「G'z One TYPE-R」、また直近では各種WINサービスを折りたたみ形状で厚さ約2.2ミリの薄型サイズで楽しめる「W41CA」など新製品が全て好調に推移し、前期比6.5%の増収となりました。

売上高
139,896百万円

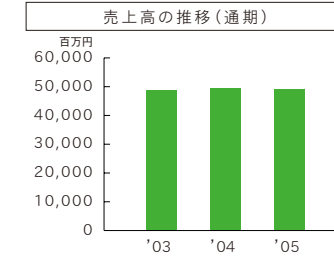


SEGMENT INFORMATION

情報機器部門

最適なハードウェアとアプリケーションを組み合わせた様々なソリューション展開を図りましたが、IT関連製品の価格下落の影響を受け、前期比1.7%の減収となりました。

売上高
48,628百万円

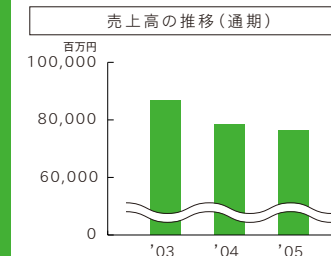


デバイスその他事業

デバイス部門は、カシオマイクロニクス（株）の主力製品であるCOF（チップ・オン・フィルム）が好調に推移し増収となりましたが、TFT液晶の単価下落の影響から前期比5.4%の減収となりました。

デバイス部門

売上高
73,976百万円



その他部門

売上高
32,913百万円

